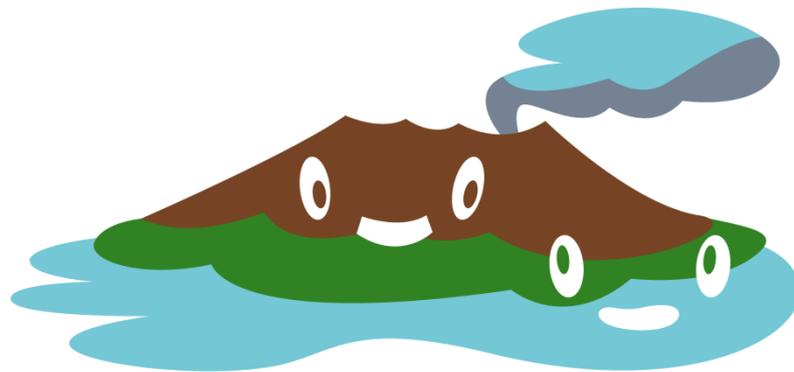


桜島・錦江湾ジオパーク推進計画 (2016～2021)



SAKURAJIMA - KINKOWAN
GEO PARK

桜島 - 錦江湾 ジオパーク

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会

目 次

第1章 策定の趣旨

| | |
|-----------|---|
| 1-1 策定の目的 | 1 |
| 1-2 計画期間 | 1 |
| 1-3 事業主体 | 1 |
| 1-4 位置づけ | 1 |

第2章 基本方針

| | |
|-----------------|---|
| 2-1 ジオパーク活動の目的 | 2 |
| 2-2 ジオパーク推進の考え方 | 2 |

第3章 推進計画

| | |
|-----------------|----|
| 3-1 観光(ジオツーリズム) | 4 |
| (1) 受入体制の充実 | 4 |
| (2) 情報発信 | 6 |
| (3) 地域振興 | 7 |
| 3-2 教育 | 9 |
| 3-3 防災 | 10 |
| 3-4 保全・保護 | 11 |
| 3-5 国際交流・国際貢献 | 12 |

第4章 計画の目標

| | |
|-----------------|----|
| 4-1 観光(ジオツーリズム) | 14 |
| 4-2 教育 | 14 |
| 4-3 防災 | 14 |
| 4-4 保全・保護 | 14 |
| 4-5 国際交流・国際貢献 | 14 |

第5章 運営体制

| | |
|------------|----|
| 5-1 組織体制 | 15 |
| 5-2 管理運営体制 | 15 |
| 5-3 財政 | 15 |

参考資料

| | |
|---------------|----|
| 1 ジオサイト等一覧 | 16 |
| 2 自然遺産・文化遺産一覧 | 19 |

第1章 策定の趣旨

1-1 策定の目的

鹿児島市では、平成25年4月に観光・経済団体や地域・まちづくり団体、教育・研究機関、展示施設及び国・県の関係機関などで構成する「桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会」（以下、「協議会」という。）を設立し、同年9月に「桜島・錦江湾ジオパーク」として、日本ジオパーク認定を受けました。

協議会設立以降、ジオパークの周知広報や説明板の設置、ジオガイドなどの人材育成といった様々なジオパーク活動を展開しているところであり、現在、ユネスコ世界ジオパークの認定に向け、取組を進めています。

今後さらに、ジオパークを地域活性化につなげていくため、ジオパーク活動展開の指針となる推進計画を策定することとします。

1-2 計画期間

本計画は、平成28年度（2016年度）から平成33年度（2021年度）までの6年間の計画とします。

1-3 事業主体

協議会が主体となり、鹿児島市をはじめとする協議会の構成団体と連携を図りながら、地域住民と協働して事業を推進します。

1-4 位置づけ

本計画は、「第五次鹿児島市総合計画後期基本計画」や「鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「第3期鹿児島市観光未来戦略」との整合性を図りながら、桜島・錦江湾ジオパーク構想を実現するための指針となるものです。

第2章 基本方針

2-1 ジオパーク活動の目的

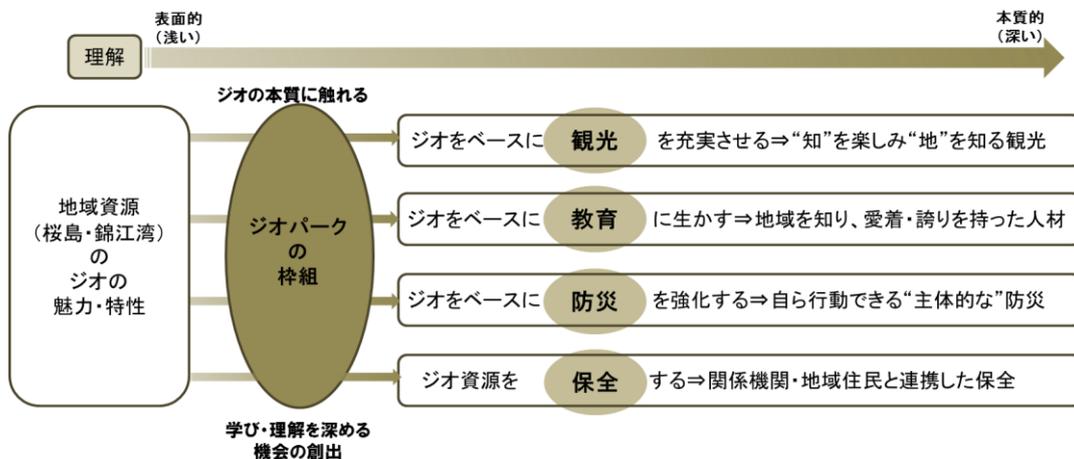
桜島・錦江湾の魅力づくりや、活火山と共生する都市としての安全性の向上への取組をさらに充実させ、国内外に一体的に情報発信していくことを通じて、ジオの魅力・特性を生かした観光振興、鹿児島への愛着や誇りの醸成、防災知識の向上及びジオ資源の保全を図るとともに、積極的・主体的な国際交流や他地域への支援などを通じて、ユネスコ理念に沿った国際的なネットワーク活動を推進することを目的とします。

2-2 ジオパーク推進の考え方

桜島・錦江湾ジオパークでは、観光、教育、防災、保全を「4本柱」としてバランスよく発展させ、桜島・錦江湾エリアにおけるジオの価値の理解の深化と、貴重なジオ資源としての保全に努めます。

◆ ジオの魅力・特性への理解を深め、これまでの取組を深化します。

桜島・錦江湾の成り立ちを含むジオの魅力・特性について、ジオパークの枠組を通して、あらためてその本質に触れ、学べる機会を増やし、理解を深めていくことによって、観光、教育、防災など各分野における取組を深化するとともに貴重なジオ資源の保全に努めます。



◆ 活火山・桜島との共生という同じ方向性での活用・取組を一体的に展開します。

桜島・錦江湾の地域資源としての活用・取組について、ジオパークの枠組を通して、分野や主体を超えて横断的に取り組んでいくことにより、桜島・錦江湾の本質を踏まえた上で活火山・桜島と共生という同じ方向性での活用・取組を一体的に展開します。



◆ 国際的なネットワーク活動の推進につながる取組を進めます。

国外のジオパーク等との交流を推進し、情報共有や意見交換を行うとともに、日本ジオパークネットワーク等が実施する国際支援事業等に積極的に参加し、桜島・錦江湾ジオパークで実施する具体的な国際貢献策の検討を行い、国際的なネットワーク活動の推進につながる取組を進めます。

◆ 霧島ジオパークや始良市・垂水市とエリア統合に向けた取組を進めます。

世界に誇れる桜島・錦江湾の自然や歴史・文化などの多彩な地域資源等と霧島ジオパークの地域資源等を活用して、新たな魅力を創出し、更なる地域発展につなげるため、霧島ジオパークや始良市、垂水市とエリア統合に向けた取組を進めます。

第3章 推進計画

3-1 観光（ジオツーリズム）

(1) 受入体制の充実

【現状と課題】

鹿児島市を代表する観光地である桜島は、知名度の高い優れた観光資源であり、多くの観光客が来訪しています。これらの観光客に対し、ジオの魅力や特性を体感できるツアーや体験プログラムを提供しています。

しかしながら、現状ではジオストーリーを提供できる人材が限られていることや、増加傾向にある外国人観光客への対応など課題があります。

また、持続的な活動を進めていくためには、周遊しやすい環境づくりや魅力的な仕掛けを検討することも必要です。

【取組の方向性】

・人材の育成・活用

認定ジオガイドやボランティアガイドなど、桜島・錦江湾ジオパークの魅力を余すことなく伝えられる人材の育成・活用を図ります。

・外国語対応の充実

桜島コンシェルジュセンターを開設するなど、外国人観光客へのインフォメーション機能の向上を図ります。

・環境整備

拠点施設であるビジターセンターをはじめ、各種施設の展示内容や施設環境の向上を図るとともに、交通事業者との連携などソフト・ハードの両面から魅力的な仕掛けづくりを進めます。

【具体的取組】

| 基本的方向 | | 内容 | 具体的取組 |
|----------|------------------------|----------------|--|
| 人材の育成・活用 | ジオを分かりやすく伝える人材の育成・活用 | ガイドの養成・研修及び活用 | <ul style="list-style-type: none"> ◆認定ジオガイドの養成・フォローアップ及び活用 ◆ボランティアガイドへの研修及び活用 |
| 外国語対応の充実 | きめ細やかな受入体制の充実 | インフォメーション機能の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ◆案内板や誘導標識等における多言語化の充実 ◆桜島コンシェルジュセンター等での外国語案内の充実 |
| 環境整備 | 施設・展示の充実 | ジオの魅力を伝える展示の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ◆PR映像の作成 ◆関連施設と連携した展示 |
| | | 施設的环境整備 | ◆桜島口の駐車スペースの確保 |
| | 周遊しやすい環境づくりと魅力的な仕掛けづくり | 交通事業者との連携 | ◆有村溶岩展望所レストハウスのリニューアル |
| | | 新たな魅力の創出 | ◆新たな魅力の創出に向けた検討 |

(2) 情報発信

【現状と課題】

桜島・錦江湾ジオパークの魅力を広くPRするため、多様なツールを活用した効果的な情報発信を行っていますが、噴火活動に関連する風評被害の影響が生じています。

また、現状では双方向の情報発信を十分に活用できていないことから、SNSなどにおいて情報の受け手側も参加できる機会の充実を図ります。

【取組の方向性】

・効果的な情報発信

タイムリーな情報を数多く発信するとともに、関係機関と連携するなど効果的な情報発信を図ります。

・日常的な情報発信

桜島に対する観光客の不安等を解消するため、日常的に正確な噴火情報等の発信を進めます。

・双方向の情報発信

SNSの活用により、情報発信の拡大を図るとともに受け手側が情報発信者となるような機会の充実を図ります。

【具体的取組】

| 基本的方向 | 内容 | 具体的取組 |
|----------|-----------------|---|
| 効果的な情報発信 | 各種情報サイトの内容の充実 | ◆ホームページ等を活用した情報の適時発信 |
| | 多様な情報発信ツールの活用 | ◆関係機関とのリンク・情報共有 ◆チラシ・パンフレットを活用した情報発信 |
| | 関係機関と連携した情報発信 | ◆県内外で行うPRを通じた情報発信 |
| | 各種イベント等における情報発信 | ◆関係機関の連携イベント等の活用 ◆PR映像の活用 |
| 日常的な情報発信 | 日常かつ正確な噴火情報等の発信 | ◆ホームページやSNSによる桜島に関する情報の発信 |
| 双方向の情報発信 | 情報発信内容の充実 | ◆SNSを活用した情報発信 |

(3) 地域振興

【現状と課題】

桜島・錦江湾ジオパークにおいては、活火山・桜島や錦江湾が有する地域資源を活かした商品販売やイベントを実施するなど地域振興に寄与しています。

今後も引き続き、地域資源の活用に取り組むとともに、関連の深いグリーンツーリズムや世界文化遺産等と連携することで、さらなる地域経済の活性化を図ることが必要です。

【取組の方向性】

・ **マーケティング活動**

商品販売やジオ活動において、市民や観光客等のニーズとマッチングさせることでジオの魅力の向上を図り、さらなる地域振興につなげていきます。

・ **地域社会との連携**

住民参画の取組として、ワーキンググループや桜島でのイベントを実施していますが、これらの活動を市街地側にも拡充し、地域社会との連携を深めていきます。

・ **グリーンツーリズムとの連携**

桜島の雄大な自然や特産物などを活用し、観光客などを対象とした交流・体験活動を展開しているグリーンツーリズムとの連携を深めることで、桜島の資源やジオの魅力を活用した体験・交流メニューによるにぎわいの創出を図ります。

・ **世界文化遺産との連携**

ジオパークエリア内には、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成遺産の一部（旧集成館、寺山炭窯跡）が存在します。これらの遺産には、火砕流堆積物が使用されており、地形地質遺産が地域の文化の発展に深く関わっています。世界的価値を持つ地形地質遺産と文化遺産が互いにその成り立ちや背景を共有し、相互価値を向上させることで、桜島への来訪者の増加につなげていきます。

【具体的取組】

| 基本的方向 | 内容 | 具体的取組 |
|---------------|----------------------|--|
| マーケティング活動 | 地域の特産品等の魅力向上 | ◆ 地域資源やニーズの把握 |
| | ジオの魅力を生かした商品開発 | ◆ ジオの資源を活用した商品開発 |
| 地域社会との連携 | 市民や地域団体と協働の充実 | ◆ ワーキンググループのメニューの充実 ◆ 市街地側でのPRイベントの開催 |
| グリーンツーリズムとの連携 | 体験・交流メニューの充実 | ◆ ジオの資源を活用した体験・交流メニューの開発 |
| 世界文化遺産との連携 | 関連資源（遺産）における情報共有及び活用 | ◆ 相互イベントにおけるPR活動 |

3-2 教育

【現状と課題】

一般市民を対象としたジオ講座のほか、子供や親子を対象としたジオキッズ講座の実施など幅広い年代への教育活動を進めています。

一方で、小中学校へのジオ出前授業を実施するなど、ジオパーク学習への取組を進めておりますが、学習内容の体系化や実施体制の確立には至っていません。このため、教育機関とさらなる連携を図る必要があります。

【取組の方向性】

・市民への普及啓発

わかりやすい資料・講座等を通じて、地域住民だけでなく市民全体がジオパークについて知り、関心を高めることで愛着や誇りの醸成を図ります。

また、関心の高い市民とともに、ジオパークの普及啓発に努めます。

・学校教育

学校での授業における学習や体験型学習を通じて、ジオの魅力や特性についての理解を深めます。

【具体的取組】

| | 基本的方向 | 内容 | 具体的取組 |
|-----------|----------------------|-------------------|---|
| 市民への普及啓発 | 市民のジオパークに対する認知・理解の向上 | 分かりやすい広報の充実 | ◆ 市政広報誌等を活用した広報 ◆ 誰もが気軽に参加できる講座・イベント等の開催 |
| | | ジオ講座等の開催 | |
| さらなる市民の参画 | 関心の高い市民との普及啓発 | 若年層への普及啓発の充実 | ◆ 成人式等での普及啓発 |
| | | | |
| 学校教育 | ジオパークに関する学習の充実 | ジオパークに関する学習の推進 | ◆ 副読本の作成 ◆ 教職員と連携した授業での活用 |
| | | ジオパークに関する体験型学習の充実 | |
| 教職員への支援 | 教職員向けの研修の充実 | 教職員向けの研修の充実 | ◆ 教職員向け研修の実施、受講者の拡大 |
| | | ジオパークに関する補助教材等の作成 | |

3-3 防災

【現状と課題】

桜島・錦江湾ジオパークにおいては、60年以上活発な噴火活動を続ける世界的にも珍しい活火山・桜島を有しており、世界に誇りうる充実した防災対策への理解を深めるため、防災に関する講座の開催や体験プログラムを実施しています。

また、災害時において関係機関と連携し、観光客への的確な情報伝達ができるような体制づくりが必要です。

【取組の方向性】

・防災教育

火山災害はその状況をイメージすることが困難なことから、学校教育における防災教育を支援するとともに、防災に関する講座の開催や体験プログラムを実施することで、火山防災に対する理解の向上を図ります。

・緊急時の情報伝達

桜島の噴火警戒レベル引き上げ時などの緊急時において、関係機関と連携し、観光客への的確な情報伝達ができるような体制を構築し、活用を進めます。

【具体的取組】

| 基本的方向 | 内容 | 具体的取組 |
|----------|-----------------|-------------------------|
| 防災教育 | 学校教育における防災教育の支援 | ◆教育機関と連携した防災教育の支援 |
| | 火山防災に対する理解の向上 | ◆防災に関する講座の開催や体験プログラムの実施 |
| 緊急時の情報伝達 | 緊急時の情報伝達の推進 | ◆関係機関と連携した観光客への的確な情報伝達 |

3-4 保全

【現状と課題】

桜島・錦江湾ジオパークのほぼ全域が霧島・錦江湾国立公園に指定されています。エリア内には指定文化財等が多く存在し、ジオサイトの重要な構成資源については、自然公園法等により規制されています。

一方で、法規制のないジオサイトについては、独自で保全を行う必要があります。

【取組の方向性】

・保存管理

保全計画を策定し、エリア内における規制内容などについて広く周知するとともに、ジオサイト等の運営管理状況の把握や地域資源の保全を図ります。

また、法規制のないジオサイトについては、関係機関や地域住民との連携を図りながら、協議会が継続的にジオパーク活動の中で確認を行います。

【具体的取組】

| | 基本的方向 | 内容 | 具体的取組 |
|------|----------------|------------------|--|
| 保存管理 | ジオサイトの保存管理 | ジオサイトの運営・管理情報の把握 | ◆関係機関、地域住民と連携した観察・保存 ◆ジオサイトの運営・管理状況のデータベース化 |
| | エリア内における規制等の周知 | 来訪者等への規制等の周知 | ◆関係機関と連携した規制周知の広報ツールの作成 ◆ホームページ等による周知 |
| | エリア全体の地域資源の保全 | 清掃・美化活動等の実施 | ◆地域住民等による清掃・美化活動等 |

3-5 国際交流・国際貢献

【現状と課題】

ユネスコ世界ジオパークには、積極的・主体的な国際交流、各地との姉妹提携等による情報交換・情報共有、他地域への支援などが求められております。

桜島・錦江湾ジオパークにおいても、ユネスコ世界ジオパークを目指すにあたっては、国際的なネットワーク活動を進める必要があります。

【取組の方向性】

・国際交流

ジオパーク国際ユネスコ会議等に参加し、桜島・錦江湾についての情報発信を行うとともに、国外のジオパークとの交流を推進し、桜島・錦江湾ジオパークに必要とされる国際貢献策を検討します。

ユネスコ世界ジオパークカウンスルメンバー等を招聘し、国際貢献についての意見を求めるとともに、ユネスコ世界ジオパークの審査に関する情報収集を行います。

・国外のジオパークへの支援

日本ジオパークネットワークの実施する国際支援事業等へ参加・協力し、国外のジオパークへの支援を行うとともに、桜島・錦江湾ジオパークに必要とされる国際貢献策を検討します。

【具体的取組】

| 基本的方向 | | 内容 | 具体的取組 |
|--------------|-----------------------------------|---|---|
| 国際交流 | ユネスコ世界ジオパーク関係者との関係構築 | 国際会議等の機会を捉え、桜島・錦江湾の情報発信や国外のジオパークとの意見交換の実施 | ◆ジオパーク国際ユネスコ会議やアジア太平洋ジオパークネットワークでの活動等の発表及び意見交換の実施 |
| | | ユネスコ世界ジオパークカウンシルメンバー等の招聘 | ◆ユネスコ世界ジオパークカウンシルメンバー等との意見交換 |
| | 国外のジオパークとの交流推進 | 国外のジオパークとの相互の交流 | ◆国外のジオパークの視察や学習旅行等の受入れ及び国外のジオパークへの訪問などを行い、桜島・錦江湾の情報発信や意見交換の実施 |
| | | 世界ジオパークネットワーク等の開催する研修会への参加 | ◆レスボス島（ギリシャ）で開催される国際集中講座への参加 |
| 国外のジオパークへの支援 | 日本ジオパークネットワーク等の実施する国際支援事業等への参加・協力 | ◆キャパシティ開発支援事業プロジェクトチームへの参加 | |
| 国際支援事業等への参加 | | ◆日本ジオパークネットワーク事業等への協力 | |
| | | ◆国際連携ワーキンググループへの参加 | |

第4章 計画の目標

4-1 観光(ジオツーリズム)

| 現 状 (平成 27 年度) | 目 標 (平成 33 年度) |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ジオツアーや体験プログラムなど協議会主体によるジオパーク活動 | <ul style="list-style-type: none">・ジオガイドを活かしたツアー等の実施など地域住民と一体となったジオパーク活動の定着 |
| <ul style="list-style-type: none">・ジオサイト等への説明板の設置などの環境整備 | <ul style="list-style-type: none">・交通アクセス案内の充実及び便益施設等の環境整備 |
| <ul style="list-style-type: none">・グリーンツーリズムや世界文化遺産との情報共有 | <ul style="list-style-type: none">・グリーンツーリズムや世界文化遺産との連携強化による体験メニュー等の充実 |

4-2 教育

| 現 状 (平成 27 年度) | 目 標 (平成 33 年度) |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・桜島・錦江湾ジオパークの認知度 (63.7%) ※市民対象 (H27.2 現在) | <ul style="list-style-type: none">・桜島・錦江湾ジオパークの認知度 (80.0%) |
| <ul style="list-style-type: none">・一部の学校での授業の活用 | <ul style="list-style-type: none">・エリア内での学校教育の普及 |

4-3 防災

| 現 状 (平成 27 年度) | 目 標 (平成 33 年度) |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・防災に関する講座等の開催 | <ul style="list-style-type: none">・防災に関する講座の充実及び体験プログラムの確立 |

4-4 保全

| 現 状 (平成 27 年度) | 目 標 (平成 33 年度) |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・地域資源の調査・把握 | <ul style="list-style-type: none">・ジオサイトを主としたエリア内の規制等の周知 |

4-5 国際交流・国際貢献

| 現 状 (平成 28 年度) | 目 標 (平成 33 年度) |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・国際会議等への出席・国外のジオパークとの交流 | <ul style="list-style-type: none">・国際的なネットワーク活動の充実 |

第5章 運営体制

5-1 組織体制

桜島・錦江湾ジオパークの運営は、2013（平成25）年4月に設立の「桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会」が担っており、市ジオパーク推進室が事務局を務めています。

協議会は、会長を鹿児島市長、副会長を鹿児島市副市長とし、国、県、市の関係機関、観光・経済関係団体、地域・まちづくり団体、教育・研究機関及び展示施設、地元報道機関などで構成しています。

また、下部組織として、実務責任者等で構成し事業計画案の実質的な検討などを行う幹事会、個別業務推進のためのワーキンググループを設置しているほか、学術アドバイザーを置き、専門的見地からのアドバイスを受けています。

5-2 管理運営体制

ジオパーク活動の管理運営については、年度ごとに事業計画並びに予算及び決算等を協議会へ諮り、承認を受けることとしています。

また、これまで事務局が主体となりジオパーク活動を推進していますが、協議会の各構成団体においても活発に活動を推進することで、組織強化に努めます。

5-3 財政

協議会の収入は、鹿児島市の負担金、広告協賛金及びグッズ販売収入により賄われています。桜島島内のハード整備については、鹿児島県や鹿児島市が実施しています。

今後は、ジオパーク活動のより一層の推進のため、協議会参加の各団体等から事業協賛金・協議会負担金などの協力を得ることや、グッズ販売収入の拡充などを検討するとともに、さまざまな団体等が主体的にジオパーク活動を展開し、持続可能な取組としていくことを目指します。

参考資料

1 ジオサイト等一覧

| No. | サイト名 | 概要 |
|-----|-----------|---|
| 1 | 湯之平展望所 | 火山の山肌の様子が最もよく分かる場所。侵食による谷地形、そこから流れ出した土石流、それがたまった扇状地、そこにあった考古遺跡なのエピソードが隠されている。桜島一のビュースポット。 |
| 2 | 黒神ビュースポット | 退避壕の上に作られた展望スペース。昭和溶岩や昭和火口の観察に最も適しているビュースポット。砂防施設も見学できる。 |
| 3 | 鳥島展望所 | かつて海の上にあった小島である鳥島が大正溶岩によって埋め尽くされた場所。周りの大正溶岩原を観察するのに絶好の場所。 |
| 4 | 有村溶岩展望所 | 大正溶岩、昭和溶岩が観察できるビュースポット。両者の植生の違いが観察できる。そのほか、咲花平の溶岩ドームや、シラス台地も観察できる。 |
| 5 | 桜島口 | 大正溶岩によって陸続きになった場所。大正溶岩と大隅半島では植生が全く違うことが分かる。溶岩で埋もれた瀬戸の集落は、幕末に日本で最初の本格的な西洋式の軍艦「昇平丸」が建造された場所。 |
| 6 | 溶岩なぎさ遊歩道 | 全長 3km の溶岩遊歩道。大正溶岩とその上に生える植生を観察できる。海岸付近から海底では地下水の湧水がある。このため絶滅危惧種のハクセンシオマネキが生息している。 |
| 7 | 黒神埋没鳥居 | 大正噴火によって約 2m 埋没した鳥居。噴火の凄さを体感できる場所である。奥には社殿があり、周辺の森は桜島で最も古い森。大正噴火で 2m 埋もれたが、その後復活したシイの木の生態は非常に面白い。 |
| 8 | 安永火口列 | 安永噴火の際の割れ目噴火の火口列。火口の中に入れる貴重な場所。周辺にはアグルチネートの堆積物が見られる。営林署の許可が必要。 |
| 9 | 園山池 | 安永溶岩に囲まれた場所に位置する桜島唯一の池。地下で海とつながっているため、潮位によって水面の高さが変化する。タケコケモドキという極めて珍しい藻類が北半球で唯一ここだけで発見されている。 |
| 10 | 塩屋ヶ元港 | 天平宝字溶岩と昭和溶岩の両方が見える港。両者の植生の違いが良く分かる。海の色はエメラルドグリーンで温泉成分に由来する。かつての温泉施設もある。 |
| 11 | 鍋山 | 天平宝字噴火の際にできた軽石丘。軽石で構成される火砕丘は珍しい。この山があったために昭和溶岩は有村地区、黒神地区の 2 方向へ分かれて流れて行った。 |
| 12 | 有村海岸 | 干潮時（引き潮の際）に温泉が掘れる海岸。3 つの違う時代の溶岩が観察できるほか、土石流によって海岸が拡大していることも体感できる。 |

| No. | サイト名 | 概要 |
|-----|------------|--|
| 13 | たぎり | 若尊カルデラからの火山ガスが海面に現れている貴重な場所。地元の漁師の間では「たぎり」と呼ばれている。海底に火山が存在することが実感できるスポット。 |
| 14 | 新島 | 安永噴火により海底が隆起してできた島。周辺の島々は溶岩が直接出てきたもの。新島には約 5,000 年前の貝化石層もあり、手で触ることもできる。 |
| 15 | 神瀬 | 桜島より前の始良カルデラのカルデラ壁。灯台が立ち、海の道しるべとなっている。 |
| 16 | 沖小島 | 桜島より前の始良カルデラのカルデラ壁。20～40 万年前の流紋岩でできている。絶滅危惧種の渡り鳥「ウチヤマセンニュー」の生息地。薩英戦争の砲台跡もある。 |
| 17 | 寺山公園 | 桜島や始良カルデラ（錦江湾奥部）を観察できるビュースポット。桜島の北西斜面に発達する火山麓扇状地も観察できる。 |
| 18 | 仙巖園 | 桜島を借景とする日本庭園が特徴。桜島が鹿児島島に住む人々へ与えた精神的影響も感じることができる。 |
| 19 | 城山 | 桜島を観察することができるビュースポット。桜島の代表的な風景といえば、この展望所からの眺めが最も有名。 |
| 20 | 竜ヶ水 | 竜ヶ水の地名（「竜が水を吹くように水害が多い」意と言われる）が「ジオ」に関わるほか、この道自体も上之原～竜ヶ水の間挟まる 80 万年分の地層の観察ルートとすることが可能。 |
| 21 | 三船 | 黒曜石が採れる場所。市内各所で出土する黒曜石加工品（ナイフなど）はここで産出したもの。当地にある入水の碑も玉石状になった黒曜石の上に建てられている。対岸には桜島の火山扇状地を臨むことができる。 |
| 22 | 花倉 | 60 万年前に一帯が海であったことを示す花倉貝層がある。 |
| 23 | 桜島ビジターセンター | 桜島の噴火の歴史や植生遷移などを紹介する施設。200 インチのハイビジョンシアターでは桜島の紹介ビデオを上映。桜島観光案内も行っている。ジオパークの拠点施設。 |
| 24 | 月讀神社 | 月讀神社は大正溶岩で埋もれてしまったが、昭和 15 年にここへ再建された。桜島の中で最も大きい神社。 |
| 25 | 桜島小みかんの畑 | ここは扇状地で水はけがよく、おいしい柑橘類が育つ。桜島小みかんは土石流によって形成された火山麓扇状地の恵みと言える。 |
| 26 | 桜島大根の畑 | 世界一重いギネス記録をもつ桜島大根の畑。ギネス記録は 31.1kg。軽石まじりの荒れ地のような土が特徴的。 |

| No. | サイト名 | 概要 |
|-----|----------------|--|
| 27 | 東桜島小学校・爆発記念碑 | 大正噴火の前兆現象と災害の様子、噴火への備えが刻まれた石碑。 |
| 28 | 原五社神社 | 上之原は安永噴火で黒神村の人々が移住してきた地域。ここの神社は、黒神の腹五社神社を勧請したと言われる。石碑に当時の苦勞が分かる碑文が刻まれている。 |
| 29 | 石橋記念公園 | 江戸時代末期、岩永三五郎によって架けられた「甲突川の五石橋」のうち、流失した橋を除く3つの橋（西田橋、高麗橋、玉江橋）を移設復元している。鹿児島市の各所にみられる溶結凝灰岩が石材として利用されている。 |
| 30 | 市電軌道緑化 | シラスを画期的な方法でコンクリートブロック化した、保水性と断熱性及び耐圧機能に特徴のある「シラス緑化基盤」などにより実現した。 |
| 31 | 桜島国際火山砂防センター | 砂防について学べる展示施設。周辺には、桜島で最も土石流が発生する野尻川がある。目の前には、土石流について書かれたエッセー「崩れ」の著者・幸田文の文学碑もある。 |
| 32 | 鹿児島大学総合研究博物館 | 鹿児島大学に保管されている貴重な学術資料を展示する博物館。桜島の「薩摩テフラ」の地層の剥ぎ取り資料が保存・展示されている。 |
| 33 | 鹿児島県立博物館 | 桜島大正噴火の記録を残すために設立された博物館。周辺には考古資料館や爆発記念碑もあり、桜島との関わりが深い。桜島の展示も充実している。 |
| 34 | 鹿児島市立科学館 | 桜島に関する充実した展示もある科学館。ここでは、マグマの上昇の様子などが展示されており、火山のメカニズムを知る上で良い。 |
| 35 | いおワールド かがしま水族館 | 錦江湾に住む生き物や若尊カルデラから噴出する火山ガス（たぎり）の周辺に生息するサツマハオリムシの生態等を見学することができる。 |
| 36 | かがしま環境未来館 | 環境学習拠点施設。環境について楽しくわかりやすく学ぶための資料の展示や環境学習講座・イベントなどを実施している。 |

2 自然遺産・文化遺産一覧

(1) 自然遺産

①文化財

| 指定 | 区分 | 種別 | 名称 |
|----|-------|-------|---------------|
| 国 | 天然記念物 | 植物 | キイレットトリモチ産地 |
| 国 | 天然記念物 | 植物 | 城山 |
| 国 | 記念物 | 名勝 | 仙巖園附花倉御仮屋庭園 |
| 県 | 記念物 | 名勝 | 桜島 |
| 県 | 天然記念物 | 地質鉱物 | 噴火により埋没した鳥居 |
| 県 | 天然記念物 | 地質鉱物 | 噴火により埋没した門柱 |
| 県 | 天然記念物 | 植物 | 特殊羊歯類及び蘚類の自生地 |
| 市 | 記念物 | 天然記念物 | 藤崎家の大楊梅 |

②かごしま自然百選

| 指定 | 区分 | 名称 |
|----|----------------|-----------------------|
| 市 | 森林 | 寺山自然遊歩道 |
| 市 | 森林 | 寺山公園 |
| 市 | 森林 | 仙巖園の江南竹林と登山道 |
| 市 | 希少野生動植物の生息・生育地 | 吉野町のキイレットトリモチ産地 |
| 市 | 海岸 | 磯海岸 |
| 市 | 森林 | 福昌寺跡周辺の森林 |
| 市 | 森林 | 多賀山公園 |
| 市 | 干潟 | 稻荷川河口の干潟 |
| 市 | 池沼 | 鶴丸城跡の堀のハスの群生 |
| 市 | 森林 | 城山と城山自然遊歩道 |
| 市 | その他 | 甲突川の桜並木 |
| 市 | 河川・干潟 | ミサゴ・カモ・カモメ類が見られる甲突川河口 |
| 市 | 森林 | 荒田八幡宮の大楠林 |
| 市 | 森林 | 天保山の松林 |
| 市 | 海域 | 錦江湾 |
| 市 | 火山 | 桜島 |
| 市 | その他 | 新島の砂浜と貝化石層 |
| 市 | その他 | 藤野アコウ群がつくるトンネル |
| 市 | 池沼 | 園山池 |
| 市 | その他 | 地獄河原溶岩 |
| 市 | 森林 | 腹五社神社と鎮守の森 |
| 市 | 海岸 | 大正溶岩原と桜島溶岩なぎさ遊歩道 |

| 指定 | 区分 | 名称 |
|----|-------------------|-----------|
| 市 | その他 | 東桜島のアコウ群生 |
| 市 | 海岸 | 桜島有村海岸 |
| 市 | 希少野生動物の 生息・生育地 | 沖小島 |

(2) 文化遺産

①文化財

| 指定 | 区分 | 種別 | 名称 |
|----|---------|------|-------------------------|
| 国 | 重要文化財 | 建造物 | 旧鹿児島紡績所技師館 |
| 国 | 重要文化財 | 建造物 | 旧集成館機械工場 |
| 国 | 重要文化財 | 建造物 | 鹿児島旧港施設（新波止、一丁台場、遮断防波堤） |
| 国 | 記念物 | 史跡 | 城山 |
| 国 | 記念物 | 史跡 | 旧集成館附寺山炭窯跡関吉の疎水溝 |
| 国 | 記念物 | 史跡 | 鹿児島紡績所跡 |
| 国 | 登録有形文化財 | 建造物 | 県立博物館考古資料館 |
| 国 | 登録有形文化財 | 建造物 | 鹿児島市中央公民館 |
| 国 | 登録有形文化財 | 建造物 | 鹿児島大学総合研究博物館常設展示室 |
| 国 | 登録有形文化財 | 建造物 | 潮音館 |
| 国 | 登録有形文化財 | 建造物 | 鹿児島県立博物館 |
| 県 | 有形文化財 | 建造物 | 西田橋 |
| 県 | 記念物 | 史跡 | 鶴丸城 |
| 県 | 記念物 | 史跡 | 福昌寺跡 |
| 県 | 記念物 | 史跡 | 南洲墓地 |
| 市 | 有形民俗文化財 | 民俗資料 | 方崎（穂崎）の庚申塔 |
| 市 | 有形民俗文化財 | 民俗資料 | 藤野の庚申塔 |
| 市 | 無形民俗文化財 | 民俗芸能 | 桜島・島廻り節 |
| 市 | 無形民俗文化財 | 民俗芸能 | 小池島廻り踊り |
| 市 | 記念物 | 史跡 | 西郷隆盛洞窟 |
| 市 | 記念物 | 史跡 | 西郷隆盛終焉の地 |
| 市 | 記念物 | 史跡 | 天保山砲台跡 |
| 市 | 記念物 | 史跡 | 祇園之洲砲台跡 |
| 市 | 記念物 | 史跡 | 島津義弘蟄居跡 |
| 市 | 記念物 | 史跡 | 沖小島砲台跡 |
| 市 | 記念物 | 史跡 | 武貝塚 |

桜島・錦江湾ジオパーク推進計画 (2016～2021)

平成28年3月策定

平成29年4月改訂

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会
【事務局】

鹿児島市山下町11番1号 鹿児島市観光交流局ジオパーク推進室内
TEL : 099-216-1313 FAX:099-216-1320 E-mail: geopark@city.kagoshima.lg.jp
URL: <http://www.sakurajima-kinkowan-geo.jp>